

心豊かに ねばり強く たくましく 読み解く力の向上 『かすりっ子「学ぶ」プロジェクト』

南風原町の現状（子供の姿）

【全国学力・学習状況調査】(R7) 県との差 全国との差

小学校国語 +2.0 (↑) -0.8 (↓)
小学校算数 +5.0 (↑) -2.0 (↓)

中学校国語 +1.0 (→) -4.3 (↓)
中学校数学 +1.0 (↓) -9.3 (↓)

【県学力到達度調査】(R7) 県との差

5年生 6年生
小学校国語 -3.5 (↓) -1.5 (↓)
小学校算数 -0.8 (↓) -1.3 (↓)

1年生 2年生
中学校国語 未実施 -0.7 (↓)
中学校数学 +2.1 (↑) +0.6 (↑)
中学校英語 -0.5 (↓) -1.6 (↓)

【リーディングスキルテスト (R7)】

強み イメージ同定 小6 中2
具体例同定(辞書) -0.29 -0.04
係り受け解析 -0.32 +0.02

弱み 照応解決
具体例同定(理数) -0.46 -0.11
係り受け解析 -0.60 -0.22
具体例同定(理数) -0.54 -0.26

【全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査】

授業の内容はよく分かる

R7小学校国語 R7中学校国語



R7小学校算数 R7中学校数学



めざす子ども像

国際的視野に立ち郷土愛に燃えた心身ともにたくましい子どもの育成

○自ら考え自ら学ぶ子 ○心身ともにたくましい子 ○郷土文化を継承する子ども

令和8年度 学力向上推進目標

「生きる力」の基盤となる「読み解く力」と

時代の変化に対応した資質・能力の育成

ねらい

各種調査やリーディングスキルテスト（以後「RST」と表記）等のエビデンスを活用することにより、児童生徒の「基礎的・汎用的な読み解く力」を可視化し、子どもたち一人ひとりの姿や学びと成長に焦点をあて、授業改善と指導力向上を通して自学自習力を育み、幼児児童生徒の学力向上につなげる。

授業改善を軸とした重点取り組み

※「個別最適な学び」や「協働的な学び」の充実を図るために、授業において『教科書を解像度高くフルに活用』し、児童生徒自ら学習に取り組むことができる基礎的・汎用的な力を育て、学び方を習得させる。

【小中学校】

◎児童生徒の姿

- 子ども達一人ひとりが教科書をフル活用して学んでいる。
- 教科書やICTなどを活用して、自ら計画的に学習に取り組んでいる。

◎児童生徒の育ちを支える教師の姿

- リーディングスキルの視点で教科書を解像度高く読んでいる。
- 文の読み方を明示的に指導している。
- 意図が伝わる表現を意識している。
- ノートに残す板書を構築している。
- 具体例生成や同義文生成の活動を取り入れている。
- 意図的にアウトプットの機会をつくっている。

保育・教育活動を軸とした重点取り組み

※学びに向かう力の基盤となる「学びの芽」を育てる

【幼稚園】

◎園児の姿

- 「やってみたい」と思う活動を通して、様々な経験をしている。

◎園児の育ちを支える教師の姿

- 様々な活動（遊びなど）を行う際に、対話（人、もの、こと）を意識し多くの言葉に触れる機会をつくっている。
- 読み聞かせ等を通して、豊かな心を育てる機会をつくっている。
- 意図的にアウトプットの機会をつくっている。

沖縄県が目指す学力向上

自立した学習者

「子供の姿に基づく授業改善」

成果指標

子供の姿にも基づく授業改善

授業改善4つの取り組み

各学校の「目指す児童生徒像」やこれまでの取り組みの成果と課題を踏まえ、以下の4つの取り組みから選択肢し、実践を推進しましょう。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

学習基盤としてのICTの活用

「指導と評価の一体化」の実現

「自学自習力」を育む取組の充実

育成を支える4つのポイント

自己存在感の感受
共感的な人間関係
自己決定の場の提供
安全・安心な風土の醸成

沖縄県における共通実践事項

- 児童生徒の変容につながるPDCAサイクルの確立
- 「目指す児童生徒像」実現化を目指した校内研修の充実

令和8年度 かすりっ子「学ぶ」プロジェクト 南風原町学力向上推進計画

南風原町学力向上推進委員会

確かな学力の向上を目指し、豊かな心を育てると共に国際的視野に立った広い心や文化、自然を愛するたくましい「かすりっ子」の育成を図る

I 南風原町教育の目標

- 自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもち、心豊かな幼児児童生徒の育成を図る。
- 世界の恒久平和を願うわがまち南風原町の心を国内はもとより、世界へ向けて発信し続けるとともに、国際的視野に立ち、郷土文化の継承・発展と「人もまちもきらきら育つまち」をめざして心身ともに健全な町民の育成を図る。
- 学校・家庭・地域社会の相互の連携のもとに、町民の多様な要請に応え、時代の変化に対応し得る教育の方法を追究し、社会に貢献できる人材の育成と生涯学習社会の実現を図る。

II 南風原町学力向上推進のめざす子ども像

国際的視野に立ち郷土愛に燃えた心身ともにたくましい子ども

- 自ら考え自ら学ぶ子ども
- 心身ともにたくましい子ども
- 郷土文化を継承する子ども

III 南風原町学力向上推進の目標

「生きる力」の基盤となる「読み解く力」と時代の変化に対応した資質・能力の育成

(成果指標) ※沖縄県学力向上推進施策「自立した学習者」育成プロジェクトより

- 全国学力・学習状況調査「児童生徒質問調査」・県版「児童生徒質問調査」
 - 授業の内容がよく分かる児童生徒の割合増加
 - 授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分からよく取り組んでいた児童生徒の割合増加
 - 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することがよくできた児童生徒の割合増加
 - 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることがよくできた児童生徒の割合
- 全国学力・学習状況調査「学校質問調査」・県版「学校質問調査」
 - 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査やデータに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していることについて、よく行っている学校の割合増加
 - 「目指す児童生徒像」実現化を目指した校内研修を、よく行っている学校の割合増加
 - 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った学校の割合増加
- 全国学力・学習状況調査「教科調査」
 - 全国学力・学習状況調査における平均正答率の向上

IV 基本方針

- 1 町及び幼稚園・小中学校が、幼児児童生徒の実態を踏まえた目標を設定し、学力向上推進のための計画を立てる。
- 2 「生きる力」の基盤となる「読み解く力」と時代の変化に対応した資質・能力を育成する取組を推進する。
- 3 沖縄県学力向上推進施策「自立した学習者」育成プロジェクトや各種調査結果を踏まえ、本町の「学ぶ」プロジェクトを作成する。幼稚園・小中学校では町の「学ぶ」プロジェクトを踏まえ、「子供の姿に基づく授業改善」を推進する。
- 4 「子どもの姿に基づく授業改善」を推進するために、幼稚園においては保育・教育活動を軸とした重点取り組み、小中学校においては授業改善を軸とした重点取り組みを設定する。
- 5 学力向上の推進にあたっては、学力向上推進委員会(総会)を中心に、専門部会(学校教育部会、家庭・地域教育部会)を組織し、それぞれが役割を明確にするとともに、幼児児童生徒の

変容につながるPDCAサイクルの確立を目指す。

- 幼稚園・小中学校の実態や課題に対応した、具体的で日常的な取組を行い、実効性のある取組になるよう学校・家庭・地域が相互に連携する。

V 学力向上推進における全体構想

学習指導要領では、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進が求められている。また、生徒の発達段階を考慮し、言語能力、情報活用能力、問題発見・活用能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科の特性を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとされている。

沖縄県においては、県学力向上推進施策（令和7年度～9年度）「自立した学習者」育成プロジェクトが示された。本施策では、授業改善の取組として、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、「学習の基盤としてのICT」の活用、「指導と評価の一体化」の実現、「自学自習力」を育む取組の充実が挙げられている。各学校においては、「目指す児童生徒像」やこれまでの取り組みの成果と課題を踏まえ、4つの取組から選択し、実践を推進することが求められている。

また、「自立した学習者」育成を支える4つのポイントとして、「自己存在感の感受」、「共感的な人間関係の育成」、「自己決定の場の提供」、「安全・安心な風土の醸成」を挙げ効果的な育成を目指している。

さらに、本施策が目指すものとして「子供の姿に基づく授業改善」がキーワードとなっている。子供たち一人一人の学びと成長（子供の姿）に焦点を当て、それを出発点と改善の起点とした授業づくりを行うことで、これからの時代に即した学力向上の実現を目指している。

そこで、本町の現在の子供の姿について、関連データを基に考察してみると以下の通りとなる。

【関連データ①②】全国学力・学習状況調査

全国学力・学習状況調査について、「児童生徒質問紙」の4つの項目で「当てはまる」と回答した割合は、小学校においてはほとんどの項目で平均以上となっているが、中学校においては「授業の内容がよく分かる」項目が全国や県平均よりも低くなっている。また、学校質問紙の2つの項目で「当てはまる」と回答した学校の割合は、小学校では取組が進んでいるものの、中学校では十分な取組に至っていないことがわかる。さらに、教科調査において、各教科の平均正答率は平成30年度をピークに下降気味で、小学校においては全国平均並みを維持しているものの、中学校においては、全国水準との差があり、特に数学には課題がある現状である。

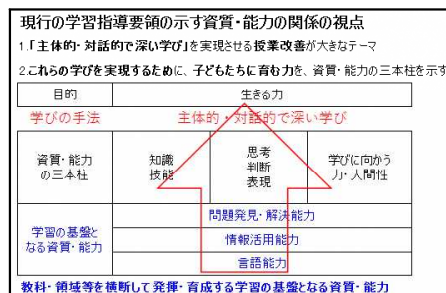
【関連データ③】沖縄県到達度調査

国語については、小学校・中学校ともに県平均をわずかに下回る結果となった。特に小学校においては、令和6年度は県平均を上回っていたが、令和7年度は下降に転じている。一方、算数・数学については、小学校では県平均を下回っているものの、中学校では県平均を上回るなどの改善の兆しがみられる。英語については、依然として県平均を下回る状況が続いており、全体として正答率は下降傾向にある。

【関連データ④】リーディングスキルテスト（以下「RST」と表記）

各能力値の平均の結果より、発達段階に応じて成長がみられるが、めざす能力値（小5：-0.3程度、小6：-0.2程度、中1：-0.1程度、中2：0.0程度）までに至っていない現状である。能力値別にみても、「イメージ同定」や「具体例同定（定義）」については、中学2年生の段階で概ね目指す能力値まで近づいている。また、「係受け解析」については、中学2年生の段階では成果を見せているが、下学年においては能力値が低い状況にある。さらに、「照応解決」や「同義文判定」、「推論」、「具体例同定（理数）」については、全体的に能力値が低い状況にある。

以上のことから、自立した学習者を育成するために、幼稚園及び小中学校においては「めざす児童生徒像」やこれまでの取組の成果と課題を踏まえて特色ある取組を進める必要がある。また、各校種及び教科横断的な視点から「基礎的・汎用的な読み解く力」に焦点を当てた取組を進める必要がある。



よって、町学力向上推進委員会としては、各学校の特色のある取組を支援するとともに、学力向上推進のねらいを『各種調査やリーディングスキルテスト等のエビデンスを活用することにより、児童生徒の「基礎的・汎用的な読み解く力」を可視化し、子どもたち一人ひとりの姿や学びと成長に焦点を当て、授業改善と指導力向上を通して自学自習力を育み、幼児児童生徒の学力向上につなげる。』として、「保育・教育活動」及び「授業改善」を軸とした重点取組を推進していく。

VI 授業改善を軸とした重点取り組み【小中学校】

小中学校においては、「個別最適な学び」や「協働的な学び」の充実を図るために、授業において『教科書を解像度高くフルに活用』し、児童生徒自ら学習に取り組むことができる基礎的・汎用的な能力を育て、学び方を習得させる。

1 めざす児童生徒及び教師の姿

<p>◎児童生徒の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>子ども達一人ひとりが教科書をフル活用して学んでいる。 <input type="checkbox"/>教科書やICTなどを活用して、自ら計画的に学習に取り組んでいる。 <p>○児童生徒の育ちを支える教師の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>リーディングスキルの視点で教科書を解像度高く読んでいる。 <input type="checkbox"/>文の読み方を明示的に指導している。 <input type="checkbox"/>意図が伝わる表現を意識している。 <input type="checkbox"/>ノートに残す板書を構築している。 <input type="checkbox"/>具体例生成や同義文生成の活動を取り入れている。 <input type="checkbox"/>意図的にアウトプットの機会をつくっている。

小中学校における「義務教育」においては、「必要な基礎学力を身に付けさせること」「公民として必要なルールを身に付けさせること」が求められている。そして、一人一人が必要な基礎学力を身に付けるためには、国から配付される「教科書」を適切に読み解き、理解することが求められている。その教科書を適切に読み解くための力として「基礎的・汎用的な読み解く力（RS）」の育成が必要となる。本町においては、授業改善を軸とした重点取り組みにおいて、RSの6分野7項目の視点を踏まえた実践を推進し、児童生徒一人一人に「基礎的・汎用的な読み解く力」を育てていく。

2 リーディングスキルの6分野7項目の視点

<p>係り受け解析 (DEP) <u>文の基本構造を正しく把握する力。読解力の最も基礎となる能力。</u> ☞文の中における主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句、接続する語句などを把握する力</p> <p>照応解決 (ANA) <u>代名詞が何を指しているかを正しく認識する力。</u> ☞指示代名詞が指すもの、省略された主語や目的語を把握する力。 （これ、それ、あれ、どれ、それら、これら、そのように、このように、など）</p> <p>同義文判定 (PARA) <u>与えられた2文が同義かどうかを正しく判定する力。語彙力や論理力が必要。</u> ☞2つの文の意味が同一かどうかを判定する力。 自学自習をする際に欠くことができない能力。答え合わせをする力（自己採点等）。</p> <p>推論 (INF) <u>既存の知識と新しく得られた知識から、論理的に推論（判断）する力。</u> ☞学校で学んだ知識と生活の中で身につけていると期待される常識から結論を導く力。 （推論の基本となる三段論法の視点で正確に読解できるか）</p> <p>イメージ同定 (REP) <u>文と非言語情報(図・表・グラフ等)を正しく対応させる力。</u> ☞文章で表現された内容と図や表、グラフなどが対応しているかどうかを見極める力。 例) 社会 …説明文と地図との関係、説明文と写真・イラストとの関係 算数・数学…説明文とグラフとの関係、説明文と用語解説との関係など</p> <p>具体例同定 (INST) (ア) <u>具体例同定(辞書) (INSTd) 辞書の定義を用いて新しい語彙とその用法を獲得できる力。</u> (イ) <u>具体例同定(理数) (INSTm) 理数的な定義を理解し、その用法を獲得できる力。</u> ☞文章の最小単位となる「単語」（言葉、語彙）を獲得しているか。 獲得した「単語」（言葉、語彙）の意味を理解しているか。 教科書などに示された単語や文章(定義文)を理解しているか。 獲得している単語や文章を具体的な例に当てはめて使うことができるか。</p> <p>【引用文献 A Iに負けない子どもを育てる 著者：新井紀子 東洋経済新聞社 2019年】</p>

3 具体的な取組（共通実践）

- (1) リーディング・スキルの視点で教科書を解像度高く読む。
 - ・一文が長く、文の構造を捉えにくい文章を明らかにする。【係受け】

- ・子供たちが教科書の文章を音読する際に、つまづく語句はないかを確認する。【係受け】
 - ・省略されている主語や目的語を明らかにする。【照応】
 - ・教科書に掲載されている図やグラフ等がどの文章と対応しているか明らかにする。【イメージ】
- (2) 各教科で文章の読み方を明示的に指導する。
 - ・教科書を正しく読むための方略（文章に線を引くなど）を明確化し、子供達に伝える。
 - ・その方略が、なぜよいのか子供達に説明する。
 - ・教科書を正しく読むための方略を使う意図的な練習の機会を設定する。
 - ・課題の達成についてのみフィードバックするのではなく、課題解決の過程についてもフィードバックする。
 - (3) 意図が伝わる表現を意識する。
 - ・「きちんと」「ちゃんと」「工夫して」等、言葉を受け取った側の捉えが一意に決まらない表現は避け、意図や目標を明確に言語化する。（具体例同定の視点をもって教材研究する。）
 - (4) ノートに残す板書を構築する。
 - ・授業を通して学んだことをノートに記録させるための板書を構築する。ノートの記録があることで家庭での学習につながり、自分で学習する際に活用することができるようにする。
 - ・定義文などを板書する際、教師が解釈して板書するのではなく、教科書のとおり板書する。
 - (5) 具体例生成や同義文生成の活動を取り入れる。
 - ・教材研究では、教科書の定義や「学習用ボキャブラリー※」を、同義で言い換えるとどのような表現になるか、具体例は何かを明らかにしておく。【同義文判定】【具体例同定】
 - ・授業では、定義を基に具体例を考える「具体例生成」の活動や、同義となるよう言い換える「同義文生成」の活動を設定する。
 - (6) 意図的にアウトプットする機会を設定し、誤読していないかを確認する。
 - ・「とても楽しかったです。」「すごいと思いました。」など、子供達がよく使うあいまいな表現ではなく、具体的に表現させる。
 - ・なぜそうなるのかという理由を説明させたり、本当にそう言えるのかという妥当性を判断させたりする。【推論】【具体例同定】
 - ・教科書の文章を図表等に表現させる。【イメージ同定】

VII 保育・教育活動を軸とした重点取り組み【幼稚園】

幼稚園においては、学びに向かう基盤となる「学びの芽」を育てる。

1 めざす園児及び教師の姿

<p>◎園児の姿</p> <p><input type="checkbox"/> 「やってみたい」と思う活動を通して、様々な経験をしている。</p> <p>○園児の育ちを支える教師の姿</p> <p><input type="checkbox"/> 様々な活動（遊びなど）を行う際に、対話（人、もの、こと）を意識し多くの言葉に触れる機会をつくっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 読み聞かせ等を通して、豊かな心を育てる機会をつくっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 意図的にアウトプットの機会をつくっている。</p>
--

幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う時期である。幼稚園においては遊びを通して小学校以降の学びの芽生えを培い、小学校ではその学びの芽生えをさらに伸ばしていくことが重要とされている。本町幼稚園における学力向上の考え方として、保育・教育活動を軸とした取組を推進して、学びの基盤となる「学びの芽」を育てる。

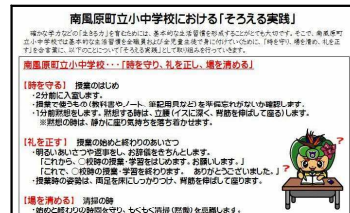
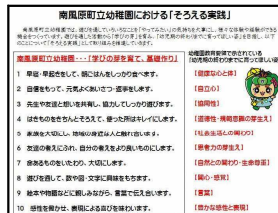
2 具体的な取組（共通実践）

幼稚園においては、施設等を生かした環境を通じた保育・教育活動の取組を行う。

- (1) 基本的な生活習慣の育成と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮した保育活動。
- (2) 幼児期の主体的な活動を促し、主体的に遊び込む環境づくり。
- (3) 四園研修等の計画的実施による職員の資質向上。
- (4) 豊かな心を育てる絵本の読み聞かせの充実。
- (5) 幼児一人一人の特性に応じた、発達の段階に即した指導の工夫。
- (6) 幼児の健やかな成長に向けた、新しい時代を切り拓く持続可能な魅力ある園づくりの推進。
- (7) 園において学力向上に係る到達目標の明確な設定とPDCAサイクルの確立。
- (8) 園行事、園公開日を通じた、園・家庭・地域・行政との連携の強化。
- (9) 「早おき、朝ごはん、徒歩登園、適度な運動、絵本の読み聞かせ、早寝」の家庭と連携。

Ⅷ 重点取り組みを支える基盤づくり

- 1 本町の「そろえる実践」の継続
南風原町そろえる実践である「時を守り、
場を清め、礼を正す」と「かすりっ子学習の
きまり」の内容の整理・統合を行い、右の幼
稚園及び小中学校の「そろえる実践」を共通
実践として取組を進める。



- 2 「読み解く力」の育成に係る認知負荷を下げる取組
認知負荷を下げる取組として「RSノート指導」を中心に、各学校の実態に応じて取組を進めて行く。

- (1) 「読み解く力」の育成を図るための実践事項
- 各教科の教科書が読み、意味理解ができるようにするために、家庭と連携し「音読」を通して『読み解く力』を身に付けさせていく。【学校と家庭との連携】
 - 各教科の教科書に示されている言葉や文章構造、代名詞等を意識して理解できるようにするために「視写」を通して、「読み解く力」を身につけさせていく。【学校と家庭との連携】
 - 「めあて」や「問題（課題）」など、授業で重要となる部分の板書は、『共書き（聴写）』で行う。【授業改善】
- (2) 「読み解く力」の育成を図るための小中9年間を見通した具体的な取組
- 小学校低学年・・・音読、視写を行う。（家庭学習との連携）
 - 小学校中学年・・・小学校低学年で培った基礎（音読、視写）を踏まえ、授業における「共書き（聴写）」、イメージ同定の視点を踏まえた文章問題の読み取りを行う。
 - 小学校高学年・・・教科書の中で示される「指示代名詞」や「接続詞」、教科書に示されている図やグラフの読み取りなどイメージ同定や照応解決の視点を踏まえた取り組みを行う。
 - 中学校・・・小学校で学んだ力を生かして、教科書の文章で重要な部分に線を引く、丸で囲む、文章と図、グラフを正しく対応させる力などRSの視点を踏まえた学習ができるようにする。（自学自習力の育成）

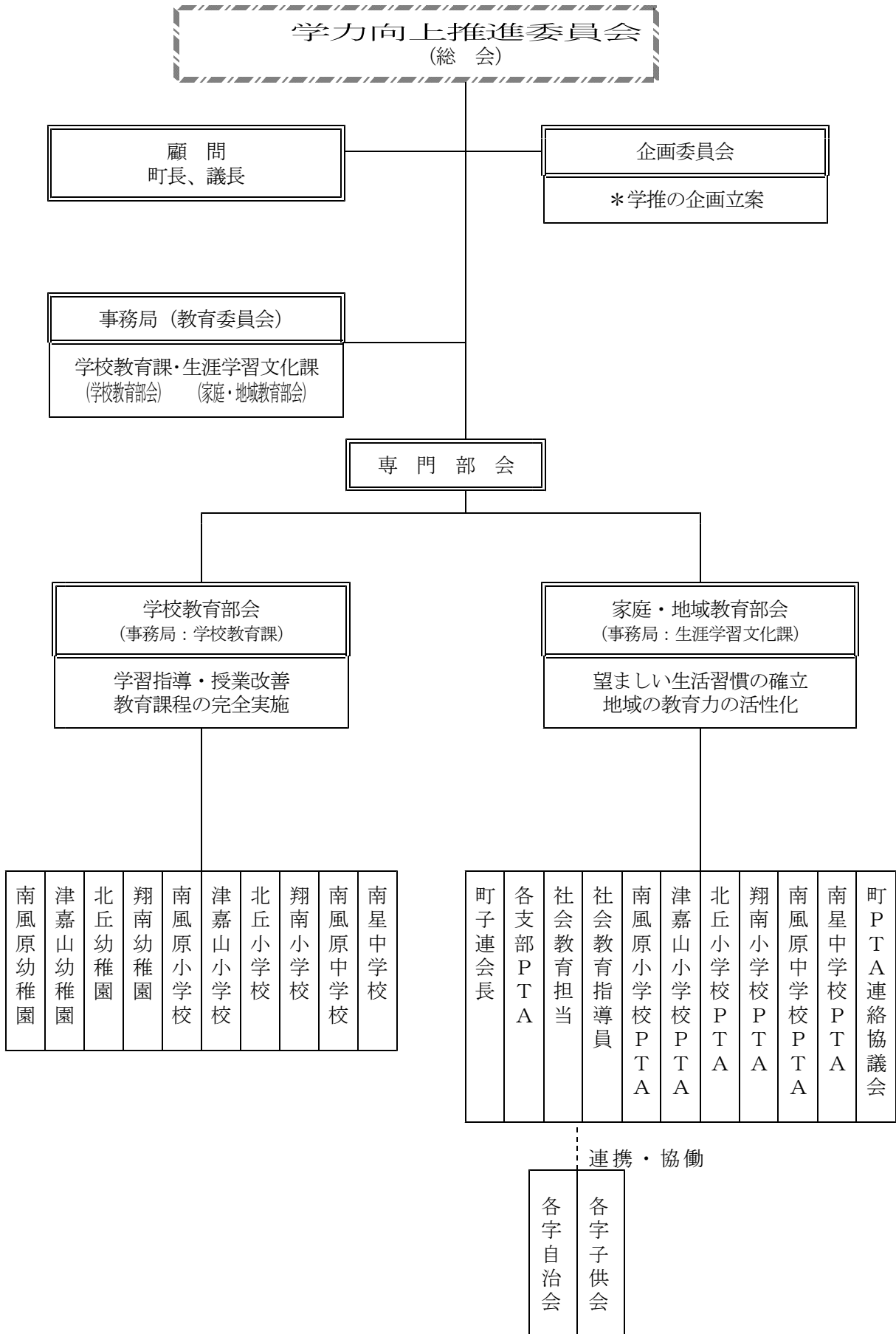
3 町学力向上推進委員会の取組

- (1) 全国学力・学習状況調査、県学力到達度調査、標準学力調査、QUアンケート、リーディングスキルテスト等の結果の分析を行い、実態を踏まえた授業改善の取組を推進する。
- (2) 「南風原町研修推進の日」を軸とした、保幼小連携の推進や小学校・中学校連携を図るに互見授業や相互交流授業を推進する。
- (3) 校長・教頭連絡会、園長連絡会や学力向上推進委員会学校教育部会等を通して、学力向上推進に係る取組について共通理解及び連携体制を強化する。
- (4) 「読み解く力」の育成を実践している先進地視察研修及び発表を通して、リーディングスキルの視点（6分野7項目）を活用した教科書分析等の研究・授業づくりを推進していく。
- (5) 新年度の5月初旬に、教育委員会学推担当者が各校を巡回し、RSの取り組みの趣旨や具体的な進め方について説明会を実施する。
- (6) 学推実践発表会においては、「南風原町教育の日」の関連事業として実施し、各園・各学校単位で保護者向けに実践報告を行う。
- (7) RSを意識した授業改善をテーマに、RST活用研究推進校（校区毎、隔年）を設定し、公開授業や授業研究会を計画・実施する。

4 学校・家庭・地域と連携した取組

- (1) 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校連携・地域連携を推進する。
- (2) 園行事や学校行事、園公開日・学校公開日を通して、園・学校・家庭・地域・行政との連携を強化する。
- (3) 幼稚園において豊かな心を育てるために、幼稚園と家庭が連携して絵本の読み聞かせ等を実践する。読み聞かせの方法等については、研修会を開催する。
- (4) 「読み解く力」の育成を目指し、家庭と連携を図るために以下の取組を行う。
 - これまで家庭学習で取り組まれてきた「音読」について、目的や方法など学ぶ機会を設定し実践方法を共有していく。
 - 学校で取り組まれている「視写」について、目的や方法など学ぶ機会を設定し、実践方法を共有していく。
 - 各学校において「家庭学習の手引」を作成・配付し、子供たち一人一人が計画を立てて、学習することができるよう支援していく。
 - 読み解く力を育て自ら学ぶ力へつなげるために、家庭の日におけるファミリー読書の啓発を推進していく。
- (5) 地域学校協働本部事業「学校応援隊はえばる」による積極的な学校支援を行う。
- (6) 島尻教育事務所教職員業務改善推進スタンダードに基づいた、県・町・学校・家庭・地域等との連携・協働・分担の体制整備、拡充を推進するために学校運営協議会との連携を図る。
- (7) 町主催スポーツ活動、国際交流派遣等の体験活動の充実を図る。
- (8) 支部PTAと連携して、地域の子ども会の育成を図る。

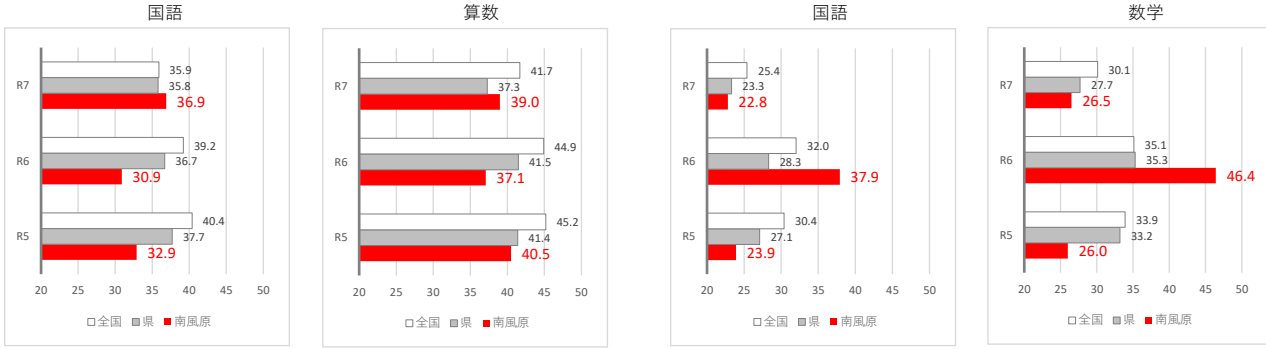
IX 学推の組織図



(関連データ①) 南風原町の子供の姿

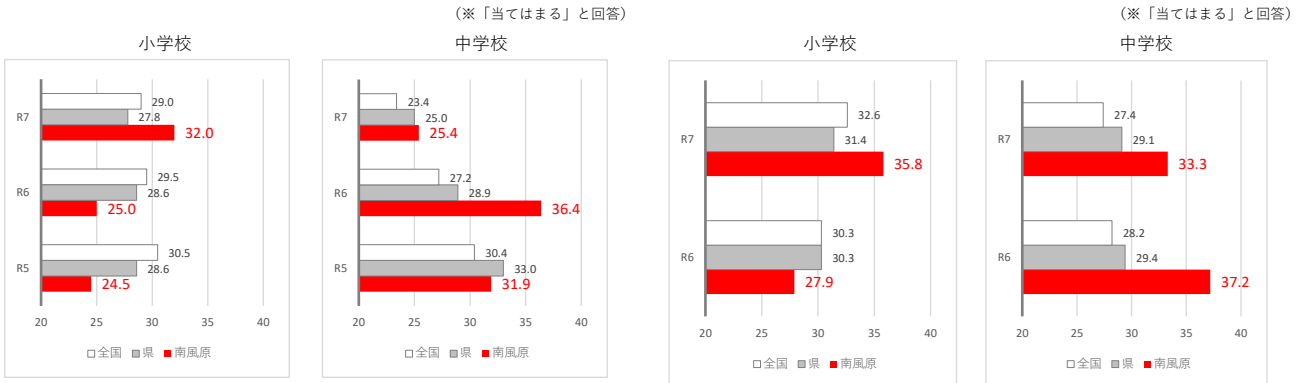
全国学力・学習状況調査 「児童・生徒質問調査」

授業の内容がよく分かる児童生徒の割合(46)(54)



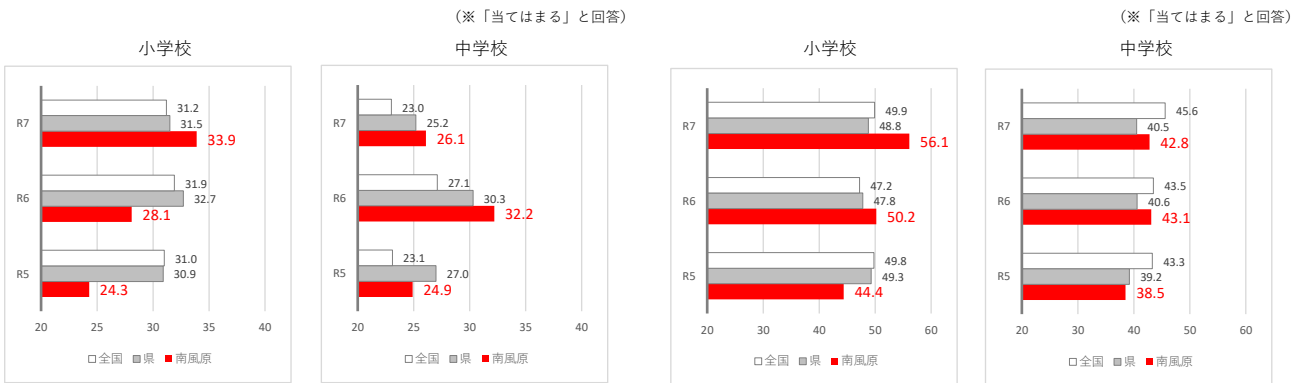
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童生徒の割合(32)

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができた児童生徒の割合(16)



学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた児童生徒の割合(36)

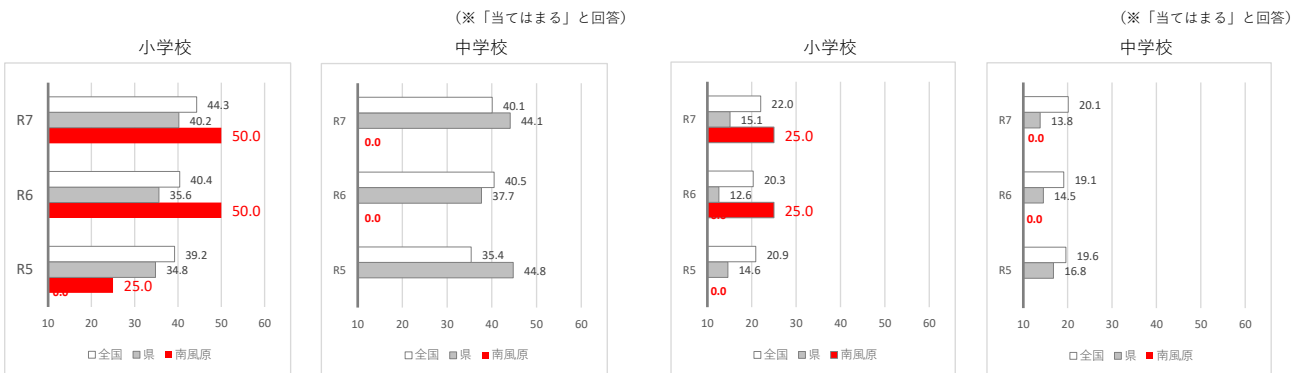
【参考】学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合(12)



全国学力・学習状況調査 「学校質問調査」

児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどにに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確率している学校の割合(15)

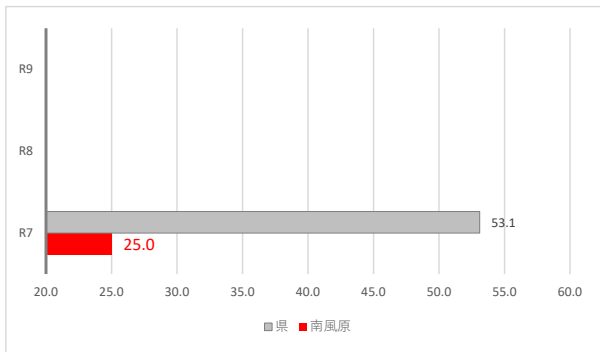
習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行っている学校の割合(33)



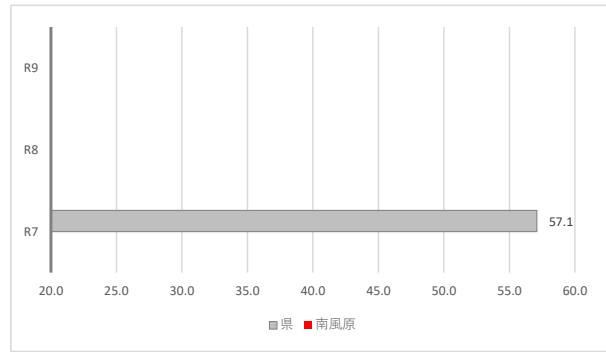
(関連データ②) 南風原町の子供の姿

「目指す児童生徒像」実現化を目指した校内研修を、よく行っている学校の割合 (県版「学校質問紙」)

小学校



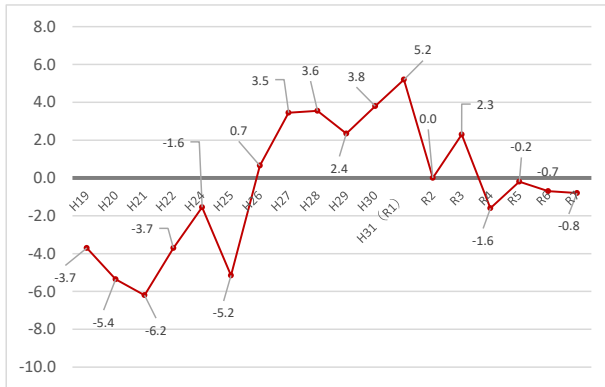
中学校



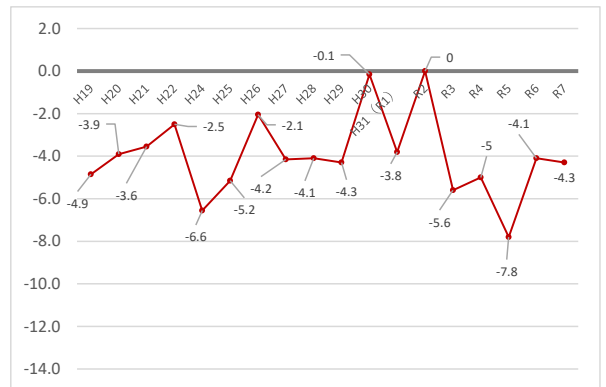
全国学力・学習状況調査 教科調査

□全国学力・学習状況調査における全国平均正答率との差

(小学校・国語)



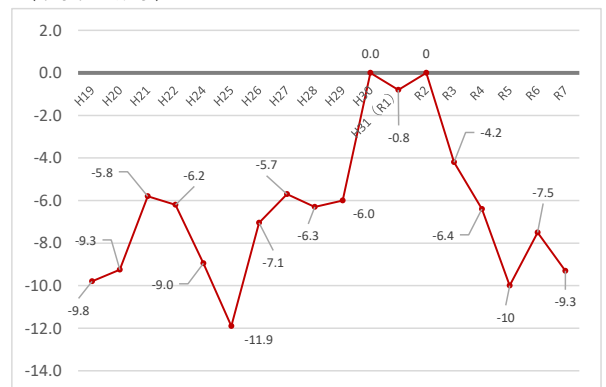
(中学校・国語)



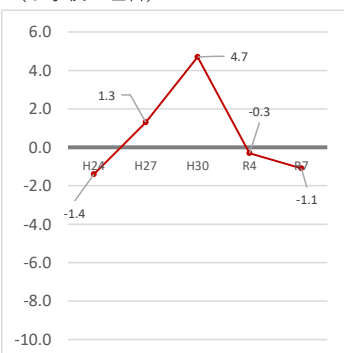
(小学校・算数)



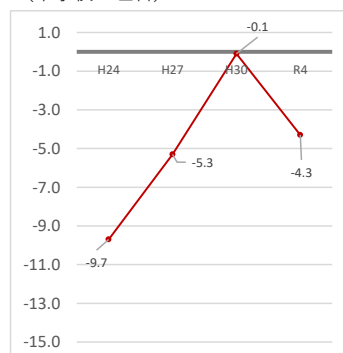
(中学校・数学)



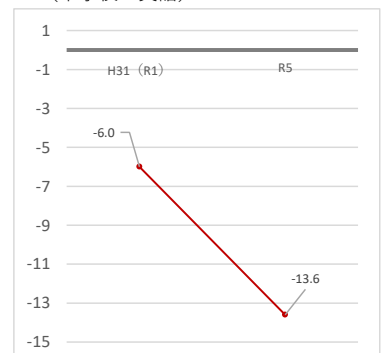
(小学校・理科)



(中学校・理科)



(中学校・英語)

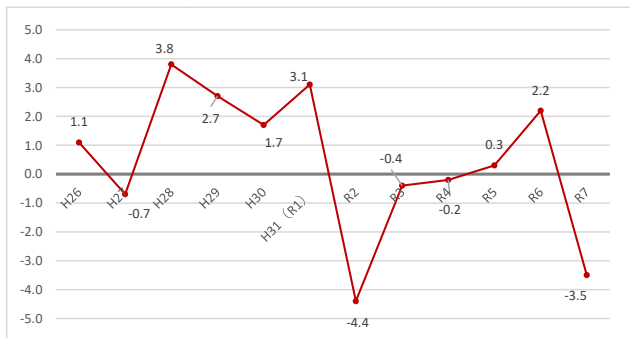


(関連データ③) 南風原町の子供の姿

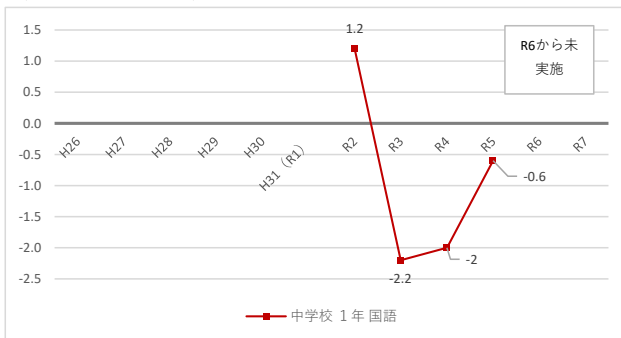
県学力到達度調査 教科調査

□県学力到達度調査における県平均正答率との差

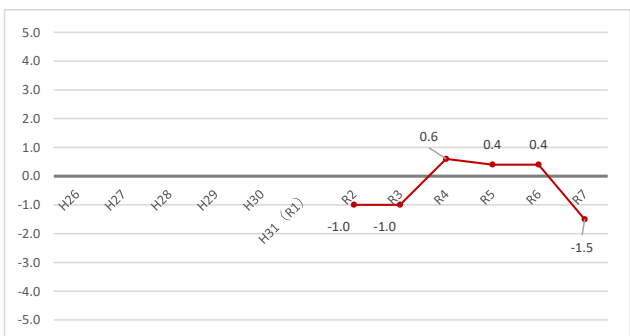
(小学校5年 国語)



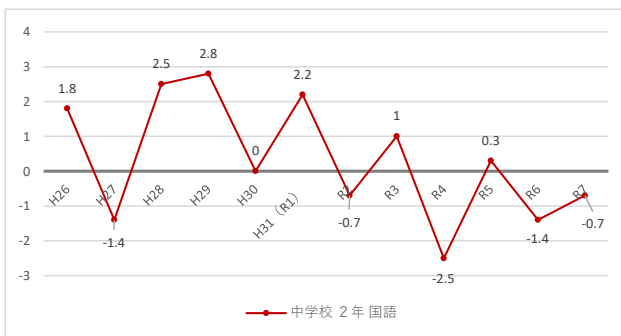
(中学校1年 国語)



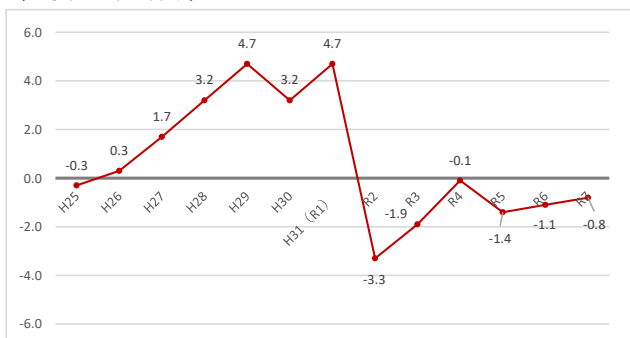
(小学校6年 国語)



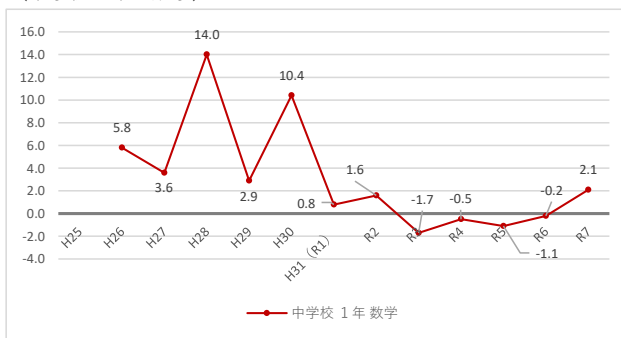
(中学校2年 国語)



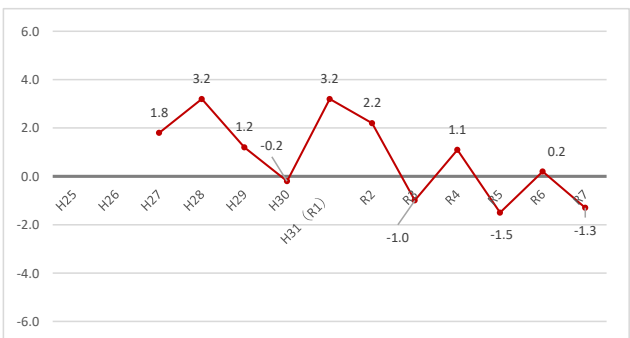
(小学校5年 算数)



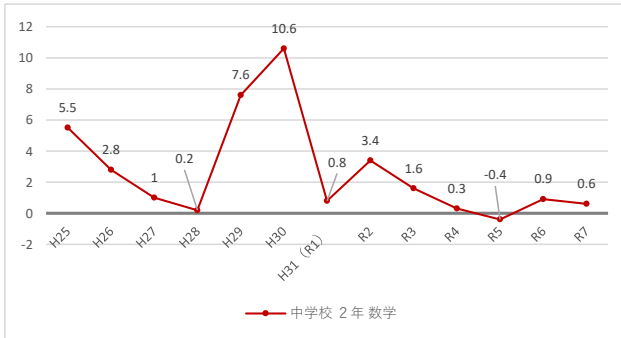
(中学校1年 数学)



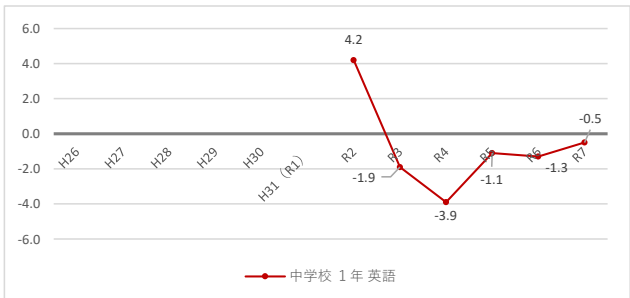
(小学校6年 算数)



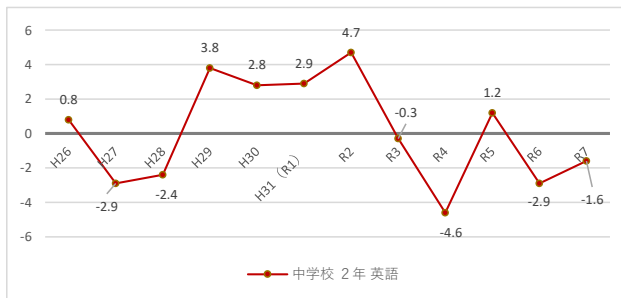
(中学校2年 数学)



(中学校1年 英語)



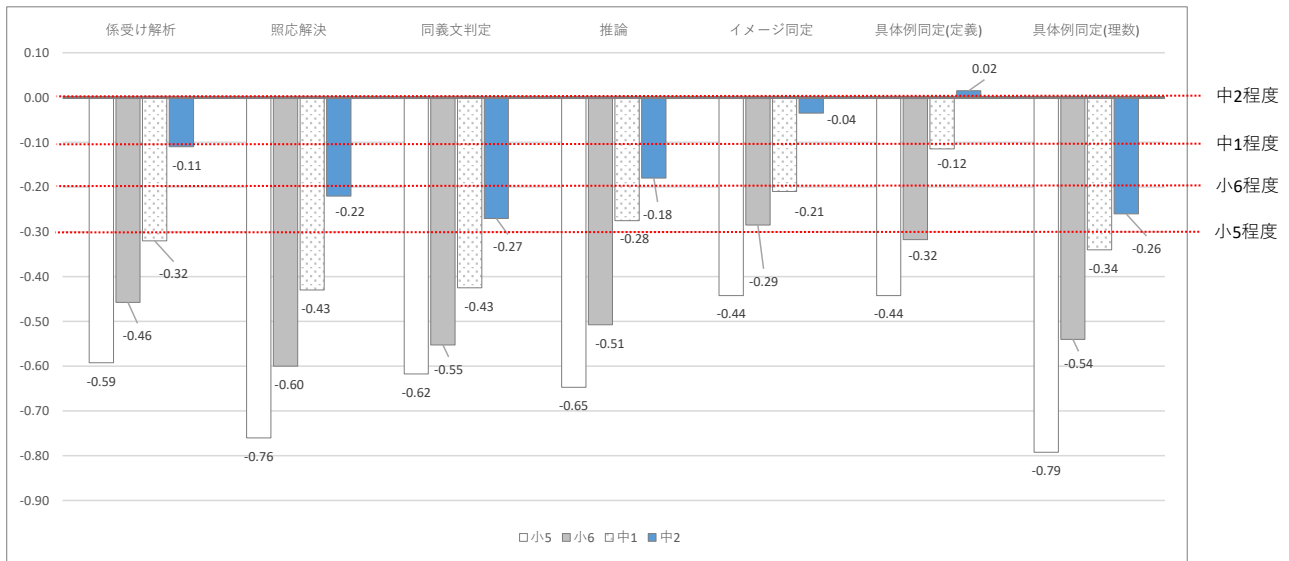
(中学校2年 英語)



(関連データ④) 南風原町の子供の姿

令和7年度 リーディングスキルテスト

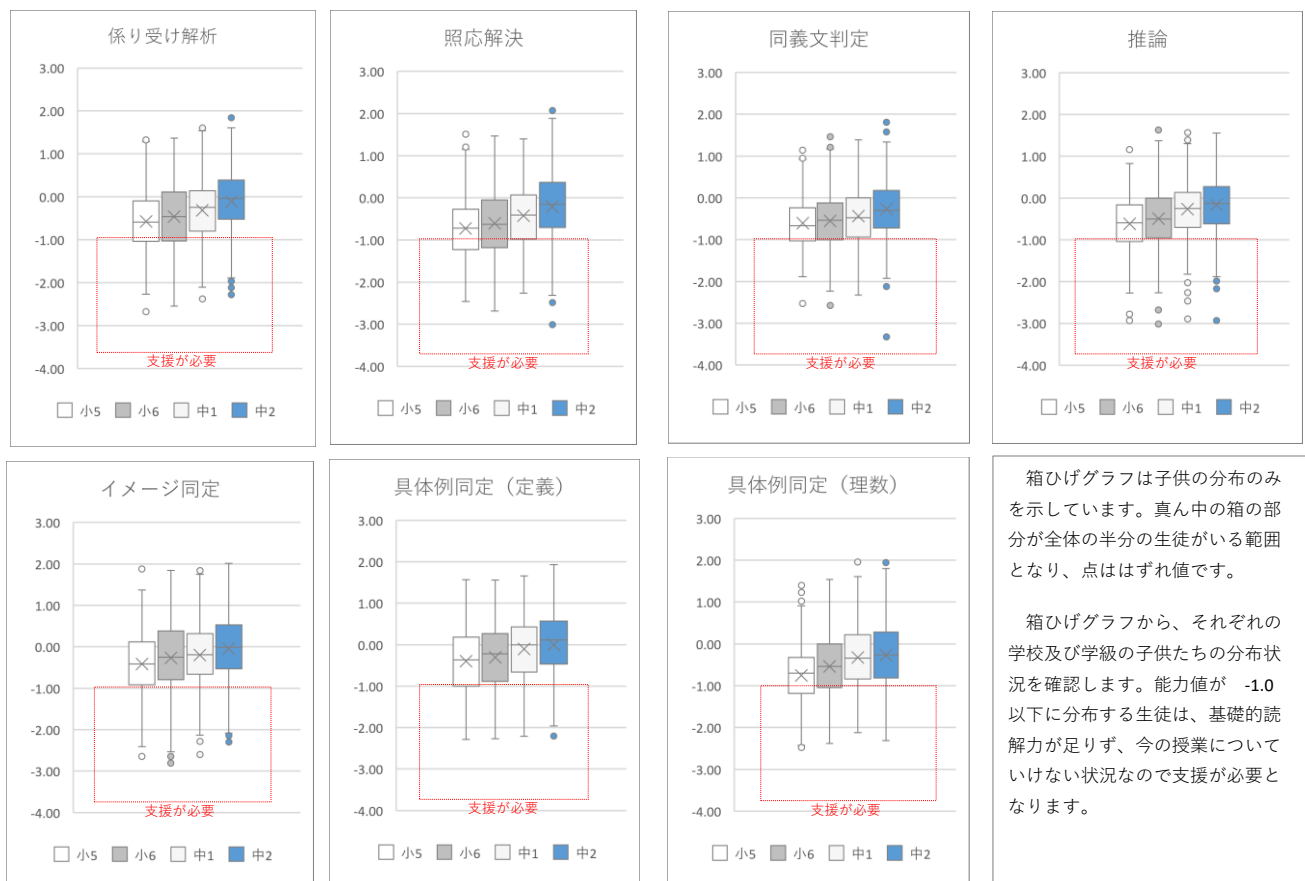
□リーディングスキルテスト 各校種・学年別 能力値平均値



※めざす能力(平均値の見方) …小5: -0.3程度、小6: -0.2程度、中1: -0.1程度、中2: 0.0程度)

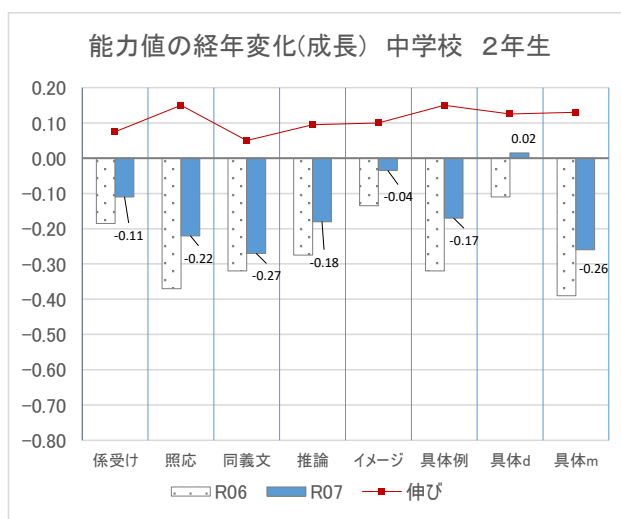
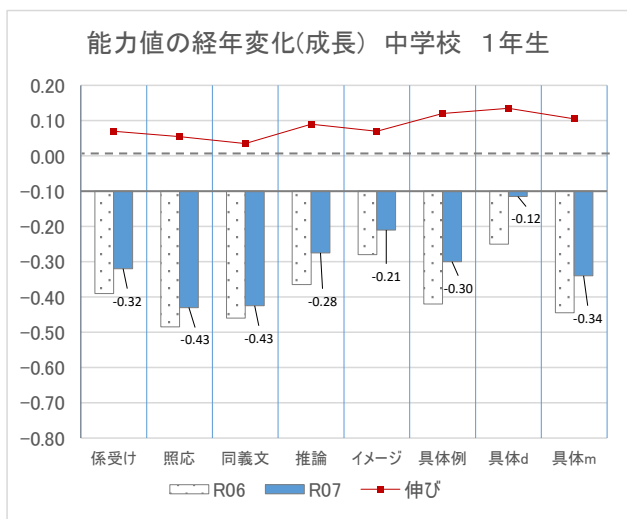
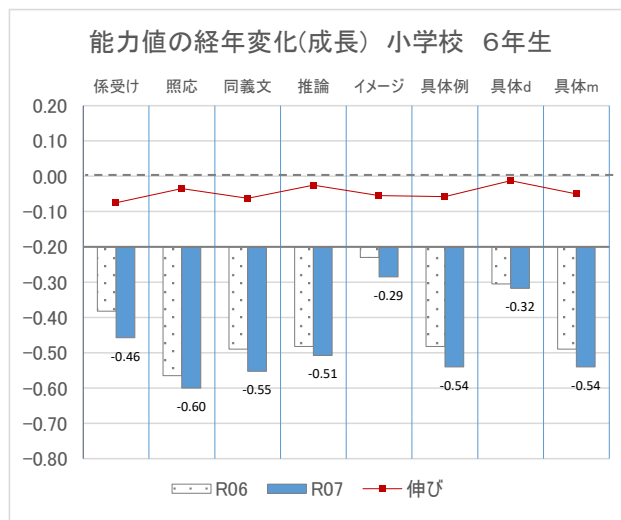
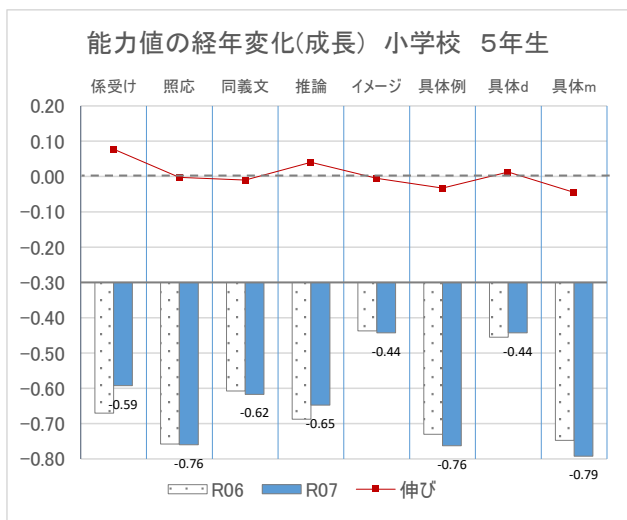
R S T の 能 力 値	係受け解析-DEP	文の構造を正しく把握する力。読解力の最も基礎となる能力。
	照応解決-ANA	代名詞が何を指しているのかを正しく認識する力。
	同義文判定-PARA	与えられた2つの文の意味が同一かどうか(同義)を判定する力。語彙力や論理力が必要。
	推論-INF	既存の知識と新しく得られた知識から、論理的に推論(判断)する力。
	イメージ同定-REP	文と非言語情報(図・表・グラフ等)を正しく対応させる力。
	具体例同定(辞書)d	教科書や辞書の定義(一定の決まった見解、考え方)を用いて新しい語彙とその用法を獲得する力
	具体例同定(理数)m	理数的な定義を理解し、その用法を獲得する力。

□リーディングスキルテスト 各校種・学年別 能力値ごとの分布の様子(箱ひげ図)



□リーディングスキルテスト 学年別 能力値比較 (平均値)

校種	学年	能力値								
		年度	係受け	照応	同義文	推論	イメージ	具体例	具体d	具体m
小学校	小5 【-0.3】	R06	-0.67	-0.76	-0.61	-0.69	-0.44	-0.73	-0.46	-0.75
		R07	-0.59	-0.76	-0.62	-0.65	-0.44	-0.76	-0.44	-0.79
		全国	-0.59	-0.74	-0.58	-0.65	-0.47	-0.69	-0.52	-0.65
		伸び	0.08	0.00	-0.01	0.04	-0.01	-0.03	0.01	-0.04
	小6 【-0.2】	R06	-0.38	-0.57	-0.49	-0.48	-0.23	-0.48	-0.31	-0.49
		R07	-0.46	-0.60	-0.55	-0.51	-0.29	-0.54	-0.32	-0.54
		全国	-0.25	-0.39	-0.35	-0.34	-0.15	-0.30	-0.18	-0.29
		伸び	-0.08	-0.04	-0.06	-0.03	-0.06	-0.06	-0.01	-0.05
中学校	中1 【-0.1】	R06	-0.39	-0.49	-0.46	-0.37	-0.28	-0.42	-0.25	-0.45
		R07	-0.32	-0.43	-0.43	-0.28	-0.21	-0.30	-0.12	-0.34
		全国	-0.09	-0.22	-0.21	-0.15	-0.09	-0.08	-0.01	-0.09
		伸び	0.07	0.06	0.04	0.09	0.07	0.12	0.14	0.11
	中2 【0.0】	R06	-0.19	-0.37	-0.32	-0.28	-0.14	-0.32	-0.11	-0.39
		R07	-0.11	-0.22	-0.27	-0.18	-0.04	-0.17	0.02	-0.26
		全国	0.12	-0.04	-0.04	-0.02	0.11	0.06	0.13	0.02
		伸び	0.08	0.15	0.05	0.10	0.10	0.15	0.13	0.13
	中3	全国	0.36	0.21	0.19	0.20	0.36	0.32	0.33	0.26



南風原町立幼稚園における「そろえる実践」

南風原町立幼稚園では、遊びを通していろいろなことを「やってみたい」の気持ちを大事にし、様々な体験や経験ができる機会をつくっています。遊びを通じた活動から「学びの芽」を育み、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を目指し、以下のことについて「そろえる実践」として取り組みを推進していきます。

南風原町立幼稚園・・・「学びの芽を育て、基礎作り」

- 1 早寝・早起きをして、朝ごはんをしっかり食べます。
- 2 自信をもって、元気よくあいさつ・返事をします。
- 3 先生や友達と想いを共有し、協力してしっかり遊びます。
- 4 はきものをきちんとそろえて、使った所はキレイにします。
- 5 家族を大切に、地域の身近な人と触れ合います。
- 6 友達の考えにふれ、自分の考えをより良いものにします。
- 7 命あるものをいたわり、大切にします。
- 8 遊びを通して、数や図・文字に興味をもちます。
- 9 絵本や物語などに親しみながら、言葉で伝え合います。
- 10 感性を働かせ、表現による喜びを味わいます。

幼稚園教育要領で示されている
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

【健康な心と体】

【自立心】

【協同性】

【道徳性・規範意識の芽生え】

【社会生活との関わり】

【思考力の芽生え】

【自然との関わり・生命尊重】

【関心・感覚】

【言葉】

【豊かな感性と表現】



南風原町立小中学校における「そろえる実践」

南風原町立小中学校・・・「時を守り、場を清め、礼を正す」

【時を守る】 授業のはじめ

- ・2分前に入室します。
- ・授業で使うもの(教科書やノート、筆記用具など)を準備忘れがないか確認します。
- ・1分前黙想をします。黙想する時は、立腰(イスに深く、背筋を伸ばして座る)します。
※黙想の時は、静かに座り気持ちを落ち着かせます。

【場を清める】 机上の整理及び清掃の時

- ・机の上には必要なものだけを置き、整理整頓します。
- ・始めと終わりの時間を守り、もくもく清掃(黙働)を意識します。

【礼を正す】 授業の始めと終わりのあいさつ

- ・明るくあいさつや返事をし、お辞儀をきちんとします。
「これから、○校時の授業・学習をはじめます。お願いします。」
「これで、○校時の授業・学習を終わります。ありがとうございました。」
- ・授業時の姿勢は、両足を床にしっかりつけ、背筋を伸ばして座ります。



南風原町立小中学校における「そろえる実践」

確かな学力などの「生きる力」を育むためには、基本的な生活習慣を形成することがとても大切です。そこで、南風原町立小中学校では基本的な生活習慣を全職員および全児童生徒で身に付けていくために、「時を守り、場を清め、礼を正す」を合言葉に、以下のことについて「そろえる実践」として取り組みを行っていきます。

南風原町立小中学校・・・「時を守り、場を清め、礼を正す」

【時を守る】 授業のはじめ

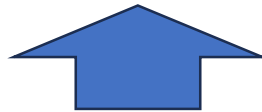
- ・2分前に入室します。
- ・授業で使うもの(教科書やノート、筆記用具など)を準備忘れないか確認します。
- ・1分前黙想をします。黙想する時は、立腰(イスに深く、背筋を伸ばして座る)します。
※黙想の時は、静かに座り気持ちを落ち着かせます。

【場を清める】 机上の整理及び清掃の時

- ・机の上には必要なものだけを置き、整理整頓します。
- ・始めと終わりの時間を守り、もくもく清掃(黙働)を意識します。

【礼を正す】 授業の始めと終わりのあいさつ

- ・明るいあいさつや返事をし、お辞儀をきちんとします。
「これから、○校時の授業・学習をはじめます。お願いします。」
「これで、○校時の授業・学習を終わります。ありがとうございました。」
- ・授業時の姿勢は、両足を床にしっかりつけ、背筋を伸ばして座ります。



南風原町立幼稚園における「そろえる実践」



南風原町立幼稚園・・・「学びの芽を育て、基礎作り」

- 1 早寝・早起きをして、朝ごはんをしっかり食べます。
- 2 自信をもって、元気よくあいさつ・返事をします。
- 3 先生や友達と想いを共有し、協力してしっかり遊びます。
- 4 はきものをきちんとそろえて、使った所はキレイにします。
- 5 家族を大切に、地域の身近な人と触れ合います。
- 6 友達の考えにふれ、自分の考えをより良いものにします。
- 7 命あるものをいたわり、大切にします。
- 8 遊びを通して、数や図・文字に興味をもちます。
- 9 絵本や物語などに親しみながら、言葉で伝え合います。
- 10 感性を働かせ、表現による喜びを味わいます。

幼稚園教育要領で示されている
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

【健康な心と体】

【自立心】

【協同性】

【道徳性・規範意識の芽生え】

【社会生活との関わり】

【思考力の芽生え】

【自然との関わり・生命尊重】

【関心・感覚】

【言葉】

【豊かな感性と表現】

